



k-Report

個別レコード表示時の帳票初期選択スクリプト

設定ガイド

V1.08

個別レコード表示時の帳票初期選択スクリプトとは？

個別レコード表示時の帳票初期選択スクリプトとは？

商品の

領収書

新しいウィンドウ

PDF出力

見積書
請求書
納品書
領収書
納品書のコピー2
納品書のコピー

出力先の自動選択も可能です

例)
確認欄に「田中」が入っていれば、デフォルト帳票は「領収書」が設定される等が実現出来ます。

お見積書

確認

田中

添付ファイル

見積書_2022-10-05_20-10-10.pdf (208 KB)
請求書_2022-10-05_20-10-30.pdf (218 KB)
領収書_2022-10-05_20-10-40.pdf (184 KB)

Let'sレストラン株式会社 様

見積番号

m0008

見積日

2022-09-12

型番	商品名	単価	数量	小計
y011	オクラ	75	10	750
y010	コウモリ	144	10	1,440

帳票初期選択スクリプトの記載方法

k-Report

本番DEMOユーザーさん

帳票メニュー

- kintone接続設定
- kintoneアプリ
- アプリ連携
- PDFテンプレート
- PDF出力履歴

ユーザーメニュー

- アカウント情報
- パスワードの変更
- お問い合わせ

LINK

- 機能概要紹介動画
- スタートアップガイド

System

- ログアウト

三 一覧 kintoneアプリ新規登録

kintoneアプリ > 伝票 > kintoneアプリ連携設定

kintoneアプリ接続設定詳細

kintoneアプリ名 **※必須**

伝票

kintoneアプリのURL **※必須** (例: https://xxxxxx.cybozu.com/k/21/)

https://a-job-dev.cybozu.com/k/20/

このkintoneアプリを開く

このkintoneアプリのAPIトークン設定画面を開く

kintoneアプリのAPI TOKEN **※必須**

hh86NcVHqfHesMonxFfJS1sWt0lcYlv0VX9pzHPe

※APIトークンのアクセス権には「レコード閲覧」の権限を付与してください。
※「添付ファイルへPDFを保存する」や「帳票作成時にレコードを更新」機能をご利用の方はアクセス権に「レコー

接続テスト

※上記の接続情報は本システムがkintoneよりデータを取得する為に使用されます

備考

請求書、見積書、納品書、領収書等

上級者向け設定

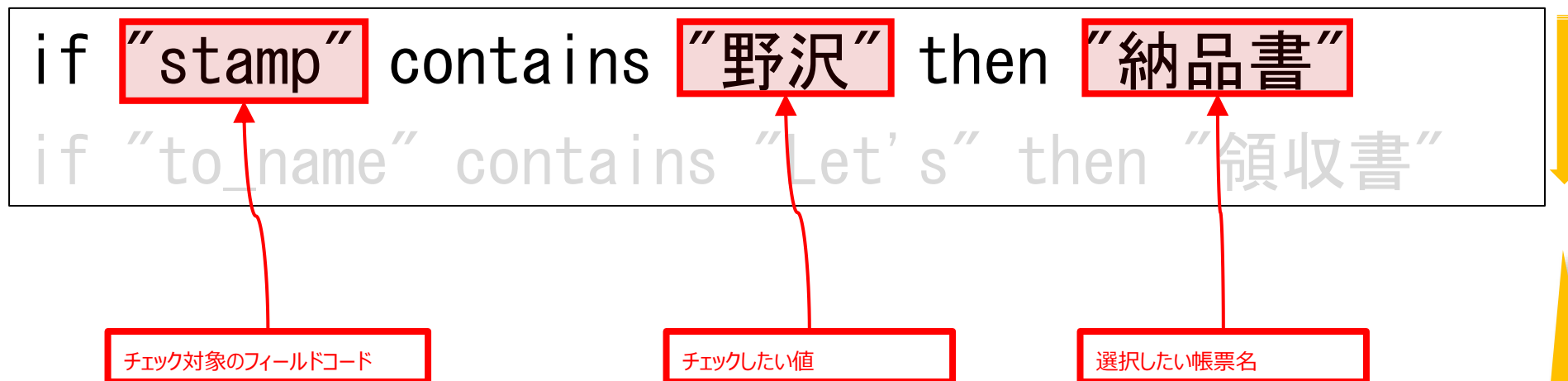
個別レコード表示時の帳票初期選択スクリプト [設定方法はこちら](#)
(※上級者向けの設定です。この機能が不要な方はデフォルトのままでもかまいません。)

```
if "to_name" contains "美味しい" then "領収書"  
if "stamp" contains "緒方" then "請求書" also select "添付ファイル_1"
```

k-Reportで該当アプリ設定を開きます

帳票初期選択スクリプトを記載します。

例1:フィールドコードの値で判定する



上記の設定例だと、

「もし"stamp"のフィールドに"野沢"が含まれていれば、帳票の"納品書"を選択する」となります。

上記の値判定である"野沢"の箇所に"*"(アスタリスク)を指定すると、どのような値が入っていても"該当"となる設定も可能です。

複数行入力出来、上から順番にチェックされ、条件にマッチした行が見つかった時点で確定します。

例2: テーブルの行数で判定する

```
if count of "テーブル1" >= 3 then "請求書"  
if "to_name" contains "Let's" then "領収書"
```

チェック対象のフィールドコード

チェックしたい値

選択したい帳票名

上記の設定例だと、

「もし「テーブル1」のレコード数が3行以上あれば、帳票の「請求書」を選択する」
となります。

count of “テーブルフィールドコード” の書式の時には下記の判定式が使用可能です。

>= 以上
<= 以下
> より上
< 未満
= であれば

複数行入力出来、上から順番にチェックされ、条件にマッチした行が見つかった時点で確定します。

複数行入力出来、上から順番にチェックされ、条件にマッチした行が見つかった時点で確定します。

例3: 複数の条件を組み合わせて判定する

```
if "stamp" contains "野沢" and count of "テーブル1" >= 3 and "venue" contains "東京" and count of "テーブル2" = 5 then "請求書"  
if "to_name" contains "Let's" then "領収書"
```

各判定値を「and」で組み合わせていくと複数の条件を指定出来ます。and条件の数に制限はありません。ただし組み合わせ判定式にはorは使用出来ませんので、orと同様の処理をご希望する時には次の行に次の新しい判定式を記述ください。

上記の設定例だと、

「もし"stamp"のフィールドに"野沢"が含まれていて、"テーブル1"の行数が3行以上あり、"venue"のフィールドに"東京"が含まれており、"テーブル2"の行数が5行の時に帳票の"請求書"を選択する」となります。

複数行入力出来、上から順番にチェックされ、条件にマッチした行が見つかった時点で確定します。

例4: 帳票の選択と同時に出力先も選択する

```
if "stamp" contains "緒方" then "請求書" also select "添付ファイル_1"  
if "to_name" contains "Let's" then "領収書"
```

also select の後に出力したい添付フィールドコード
を記載する

帳票の選択と同時に出力先となる添付フィールドも自動選択できます。

then "帳票名" **also select "選択添付フィールドコード"**

と記載頂く事で、帳票だけでなく添付フィールドも同時にデフォルト設定が可能です。

※クラウドストレージへの出力をデフォルトにするときには添付ファイルフィールドコード欄に
"KRD_OUTPUT_CLOUD_STORAGE_ONLY"
と記述ください。